

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

### 記

#### 新規受託項目

- [13046] 抗gp210抗体

#### 受託開始日

- 2023年5月8日(月)



# 抗gp210抗体

原発性胆汁性胆管炎 (PBC) は、中高年女性に好発し、胆管障害と胆汁うっ滞による黄疸などを主徴とする指定難病です。国内の推定患者数は、5~6万人とされています。

PBCは、臨床症状や肝機能と抗ミトコンドリア抗体 (AMA) 検査の結果などから判断されますが、AMA以外の抗セントロメア抗体や抗核膜孔抗体 (抗gp210抗体) などの抗核抗体でも陽性を示します。

抗gp210抗体はPBC患者の約20~30 %で検出され、その特異度はほぼ100 %とされています。また、本抗体の持続高値症例では、肝不全への進展など予後不良例が高頻度で認められます。

本検査は国内未承認の研究用検査ですが、欧州肝臓学会など海外では既に診断補助および予後予測指標として利用されており、将来臨床的な利用が期待されています。

## 検査要項

項目コード	13046
検査項目名	抗gp210抗体
検体量	血清 0.4mL [容器番号：01番→02番]
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値 (参考基準値)	20.0 units 以下
所要日数	3~16日
検査実施料	未収載
報告下限	0.4 units 未満
報告上限	100.0 units 以上
報告桁数	小数1位

## 参考文献

Nakamura M, et al. : Journal of Hepatology 42 (3) : 386-392, 2005.

厚生労働省難治性疾患政策研究事業「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班: 原発性胆汁性胆管炎 (PBC) の診療ガイドライン (2023年).